

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は2014年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2. 練習について

- ・ウォーミングアップについては、以下の場所で行うこと。(補助競技場は利用できません)
  - ・競技場内のトラック外周部の芝生エリア
  - ・雨天練習場
  - ・競技場外の周回道路等
- ・競技の進行状況に十分注意し、競技の進行を妨げないようにすること。
- ・投擲練習については、招集完了後、役員の指示を従って行うこと。

## 3. 招集について

- ・招集時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ・複数の種目に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合、代理人等で事前に申し出ること。トラック競技については競技者係(招集場所)に、フィールド競技についてはその種目の役員に申し出ること。

### トラック競技

- ・招集所は、第3コーナー(200mスタート)付近の倉庫とする
- ・招集は30分前に開始し、20分前に終了する
- ・リレー競技のオーダーについては、招集開始時刻の1時間前までに、本部情報処理室(ゴール付近)まで報告すること。

### フィールド競技

- ・現地コールとする
- ・招集は40分前に開始し、30分前に終了する

### リレー競技

- ・リレーオーダーについては、予選については開会式までに、決勝については予選終了後すみやかに本部情報処理室(ゴール付近)まで報告すること。
- ・招集は全員そろって点呼を受けること。他の種目に出場している場合は競技者係に申し出ること。

## 4. 競技について

- ・競技用のスパイクピンについては、紀三井寺競技場の規定により、長さは9mm以下の全天候舗装用スパイクピンを使用すること。走高跳・ジャベリックスローは12mm以下とする。
- ・トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の通りとする。
- ・競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のナンバーカードをつけなければならない。跳躍競技については、背または胸につけるだけでもよい。

### トラック競技

- ・計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ・タイムにより次のラウンドの出場者を決める場合、同記録者が出た場合はレーン数が充足する場合は9レーンを用いて次のラウンドを行う。レーン数が不足する場合、同記録の写真により細かく判定して進出者を決定する。それでも決まらない場合は抽選とする。
- ・レースを行う際は、腰ナンバーをランニングパンツ右側上部やや後方に取りつけること。

ゴール後は、すみやかに腰ナンバーを返却すること。

- ・レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ・短距離走では、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ・400mリレーにおいては、規定に沿ったマーカーを1ヶ所使用することができる。
- ・スタート方法は、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。

#### **フィールド競技**

- ・跳躍・投てき(ジャベリックスロー)競技者は、規定に沿ったマーカーを2ヶ所使用することができる。
- ・フィールド競技における競技場内での練習は2回とし、すべて競技役員の指示に従う。指示以外の練習は認めない。
- ・走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、次の通りとする。※選手の状態による  
男子走高跳 練習 1.10 開始 1.15(+5)・・・1.60(+3)  
女子走高跳 練習 1.00 開始 1.05(+5)・・・1.40(+3)  
棒高跳 選手の状態に応じて (+10)
- ・順位決定のバーの上げ下げは走高跳は2cm、棒高跳びは5cmきざみとする。
- ・三段跳の踏切は10m、または、8mとする。(事前に申告すること)

#### **5. その他**

- ・各校の待機場所はスタンド部分とし、競技場内や雨天練習場を待機場所としないこと。
- ・各校の持ち物・貴重品等の管理は、各自で責任を持って行うこと。
- ・応援はすべてスタンドで行うこと。なお、メインスタンドは音が反響しやすいので、100m・400mのスタート直前については特に静かにすること。
- ・メインスタンドでのテントの設置は、中段より上に設置すること。
- ・更衣室の利用は認めるが、各校の待機場所に利用したり、荷物や貴重品を置くことのないように注意すること。
- ・ゴミについては、各校で持ち帰ること。(公園内のゴミ箱の利用はできません) なお、全競技終了後、全員で会場内の清掃・器具の片付け等を行う。
- ・ケガ等の対応は、応急的な処置のみとする。